

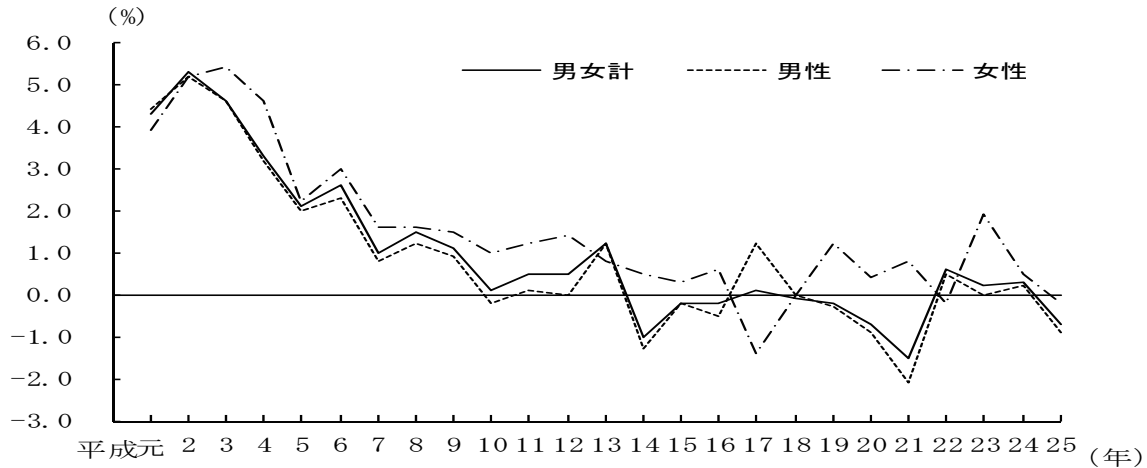
Ⅱ 調査結果の概況

1 一般労働者の賃金

(1) 賃金の推移

賃金は、男女計295.7千円(年齢42.0歳、勤続11.9年)、男性326.0千円(年齢42.8歳、勤続13.3年)、女性232.6千円(年齢40.4歳、勤続9.1年)となっており、前年と比べると、男女計では0.7%、男性では0.9%、女性では0.2%それぞれ低下している(第1図、第1表)。

第1図 性別賃金の対前年増減率の推移



第1表 性別賃金及び対前年増減率の推移

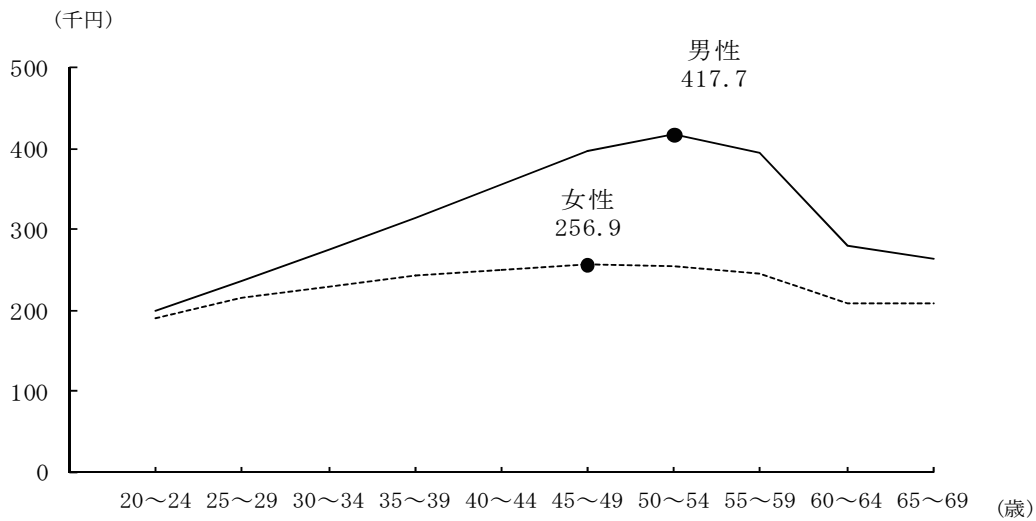
年	男女計		男性		女性	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
平成元年	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9
2	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2
3	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4
4	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6
5	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2
6	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0
7	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6
8	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6
9	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6
17	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4
18	301.8	-0.1	337.7	-0.0	222.6	0.0
19	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2
20	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4
21	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8
22	296.2	0.6	328.3	0.5	227.6	-0.2
23	296.8	0.2	328.3	0.0	231.9	1.9
24	297.7	0.3	329.0	0.2	233.1	0.5
25	295.7	-0.7	326.0	-0.9	232.6	-0.2
平成25年 年齢(歳)	42.0	/	42.8	/	40.4	/
勤続年数(年)	11.9	/	13.3	/	9.1	/

(2) 性別にみた賃金

性別に賃金カーブ※をみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50～54歳で417.7千円（20～24歳の賃金を100とすると208）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性では、45～49歳の256.9千円（同135）がピークとなっているが、男性に比べ、賃金カーブは緩やかとなっている。（第2図、第2表）

※賃金カーブとは、年齢(階級)とともに変化する賃金額の状況をグラフで表したものをいう。以下同じ。

第2図 性、年齢階級別賃金



注：線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

第2表 性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
年齢計	326.0	-0.9	162	232.6	-0.2	122	
20～24歳	200.7	0.1	100	190.4	-0.1	100	
25～29	236.5	-0.3	118	215.2	-0.7	113	
30～34	275.2	-1.1	137	230.5	-0.9	121	
35～39	314.5	-1.6	157	244.6	0.2	128	
40～44	357.3	-1.7	178	249.8	-2.0	131	
45～49	397.6	-2.6	198	256.9	0.1	135	
50～54	417.7	-1.4	208	254.2	0.6	134	
55～59	394.8	-1.0	197	245.2	2.0	129	
60～64	281.1	1.1	140	209.0	-1.1	110	
65～69	263.7	1.2	131	208.1	1.2	109	
年齢(歳)	42.8				40.4		
勤続年数(年)	13.3				9.1		

注：年齢計には、上掲の年齢階級に限らず、すべての年齢の者を含む。以下同じ。

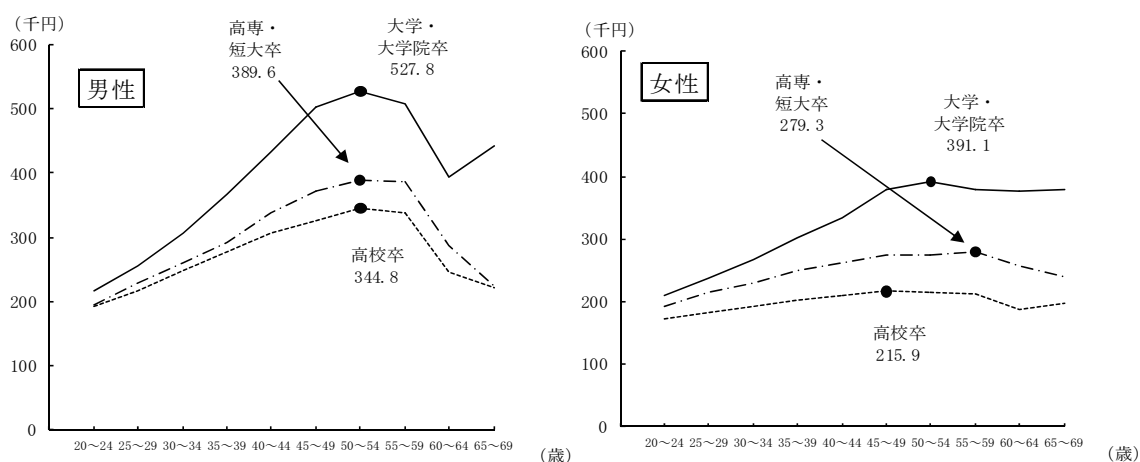
(3) 学歴別にみた賃金

学歴別に賃金をみると、男性では、大学・大学院卒が395.4千円（前年比0.8%減）、高専・短大卒が298.8千円（同1.6%減）、高校卒が283.2千円（同0.9%減）となっており、全ての学歴において前年を下回っている。女性では、大学・大学院卒が281.3千円（同0.5%減）、高専・短大卒が244.6千円（同0.7%減）、高校卒が200.9千円（同0.2%増）となっており、高校卒が前年を上回っている。

学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男性では、大学・大学院卒、高専・短大卒及び高校卒の全ての学歴において50～54歳、女性では、大学・大学院卒で50～54歳、高専・短大卒で55～59歳、高校卒で45～49歳となっている。

学歴別に賃金カーブをみると、男女いずれも大学・大学院卒の賃金カーブが急になっており、男性は女性に比べてその傾向が大きい。（第3図、第3表）

第3図 学歴、性、年齢階級別賃金



第3表 学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

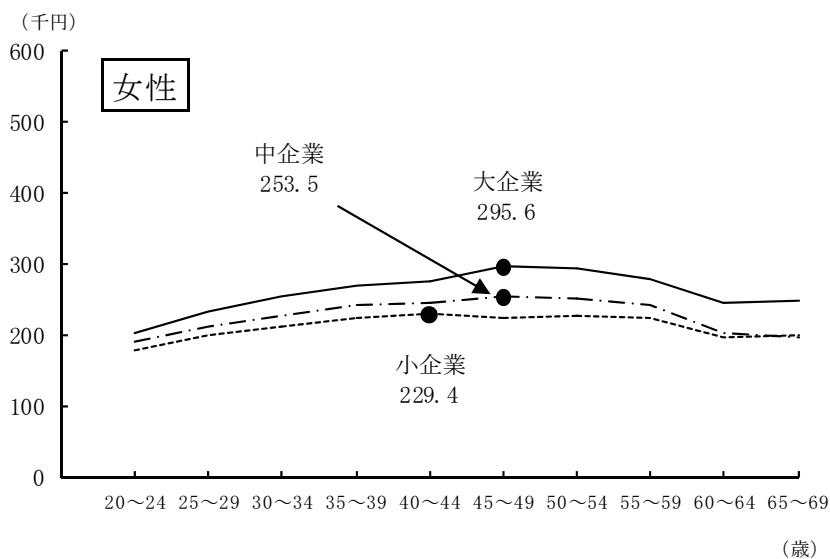
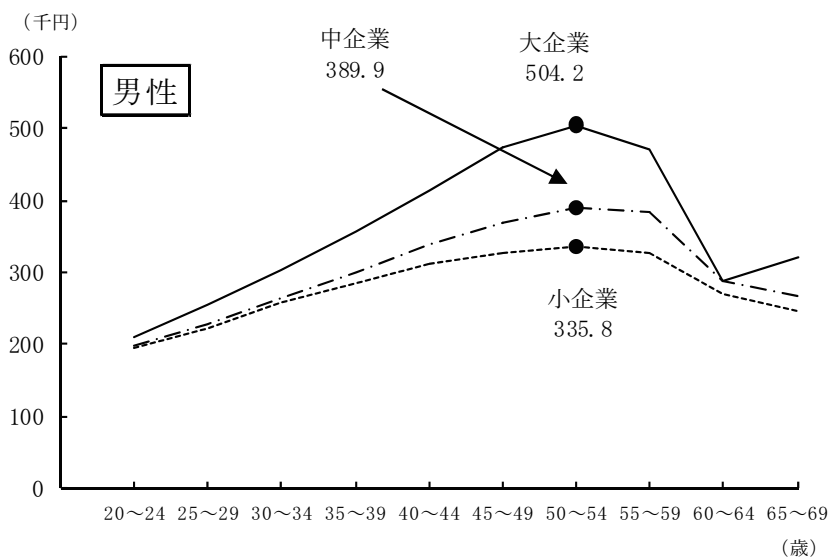
性、 年齢階級	大学・大学院卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	395.4	-0.8	184	298.8	-1.6	153	283.2	-0.9	147
	20～24歳	215.4	-0.9	100	195.3	0.1	100	192.9	0.3	100
	25～29	254.0	0.1	118	228.1	1.0	117	216.7	-1.7	112
	30～34	306.9	-1.0	142	259.4	-0.6	133	248.3	-1.5	129
	35～39	367.6	-0.6	171	291.7	-3.0	149	276.7	-2.0	143
	40～44	433.9	-2.3	201	338.1	-2.3	173	306.5	-0.3	159
	45～49	504.3	-1.8	234	372.8	-1.4	191	325.4	-2.6	169
	50～54	527.8	-1.4	245	389.6	-3.2	199	344.8	-0.5	179
	55～59	509.2	-0.5	236	385.6	-6.7	197	337.7	-2.5	175
	60～64	392.8	1.9	182	286.4	2.6	147	244.3	0.4	127
65～69	442.6	6.8	205	224.4	-13.0	115	221.6	0.7	115	
年齢(歳)	41.6			39.4			43.9			
勤続年数(年)	12.8			11.5			13.9			
女性	年齢計	281.3	-0.5	135	244.6	-0.7	128	200.9	0.2	116
	20～24歳	209.1	-0.5	100	191.7	-0.7	100	173.3	0.9	100
	25～29	235.8	-0.6	113	214.3	-0.3	112	182.1	-1.0	105
	30～34	266.2	-1.1	127	229.6	-1.7	120	191.8	-1.7	111
	35～39	302.4	-0.8	145	249.1	-0.2	130	202.3	-0.5	117
	40～44	334.0	-3.6	160	262.9	-2.3	137	209.5	-0.8	121
	45～49	380.0	-0.8	182	274.1	-1.2	143	215.9	1.2	125
	50～54	391.1	-2.0	187	275.4	-1.4	144	215.4	2.7	124
	55～59	378.0	-1.5	181	279.3	-0.2	146	212.5	0.2	123
	60～64	377.6	-8.2	181	256.5	-4.1	134	188.0	-0.3	108
65～69	378.7	-11.0	181	239.2	-7.4	125	198.3	4.6	114	
年齢(歳)	34.9			39.2			43.7			
勤続年数(年)	7.1			9.1			10.1			

(4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に賃金をみると、男性では、大企業が378.6千円（前年比0.5%減）、中企業が309.4千円（同2.2%減）、小企業が285.7千円（同1.2%増）、女性では、大企業が259.4千円（同0.5%増）、中企業が229.7千円（同0.9%減）、小企業が211.9千円（同0.8%増）となっており、男性は小企業が前年を上回り、女性は大企業及び小企業において前年を上回っている。また、大企業の賃金を100とすると、中企業の賃金は、男性で82（前年83）、女性で89（同90）、小企業の賃金は、男性で75（同74）、女性で82（同81）となっている。

賃金がピークとなる年齢階級を企業規模別にみると、男性では、全ての企業規模において50～54歳で、大企業504.2千円（20～24歳の賃金を100とすると241）、中企業389.9千円（同198）、小企業335.8千円（同174）となっている。女性では、大企業及び中企業において45～49歳で、大企業295.6千円（同146）、中企業253.5千円（同133）、小企業が40～44歳で229.4千円（同128）となっており、男性に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。（第4図、第4表）

第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金



第4表 企業規模、性、年齢階級別賃金、対前年増減率、企業規模間賃金格差及び年齢階級間賃金格差

性、 年齢階級	大企業				中企業				小企業				
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		
			企業規模 間賃金格差 (大企業= 100)	年齢階級 間賃金格 差 (20~24 歳=100)			企業規模 間賃金格差 (大企業= 100)	年齢階級 間賃金格 差 (20~24 歳=100)			企業規模 間賃金格差 (大企業= 100)	年齢階級 間賃金格 差 (20~24 歳=100)	
男性	年齢計	378.6	-0.5	100	181	309.4	-2.2	82 (83)	157	285.7	1.2	75 (74)	148
	20~24歳	209.6	1.1	100	100	197.4	-1.3	94 (96)	100	193.4	1.0	92 (92)	100
	25~29	254.3	0.4	100	121	228.4	-0.9	90 (91)	116	222.7	-0.2	88 (88)	115
	30~34	303.4	0.0	100	145	262.7	-2.3	87 (89)	133	258.4	-1.0	85 (86)	134
	35~39	355.4	-0.3	100	170	300.2	-3.3	84 (87)	152	286.1	-0.3	81 (81)	148
	40~44	414.9	-1.8	100	198	337.5	-2.3	81 (82)	171	312.1	2.0	75 (72)	161
	45~49	474.4	-1.4	100	226	370.0	-5.0	78 (81)	187	326.3	1.2	69 (67)	169
	50~54	504.2	-1.8	100	241	389.9	-3.4	77 (79)	198	335.8	3.8	67 (63)	174
	55~59	469.8	-0.6	100	224	382.6	-1.6	81 (82)	194	327.7	0.5	70 (69)	169
	60~64	288.5	-2.5	100	138	288.2	2.9	100 (95)	146	270.1	2.0	94 (90)	140
	65~69	321.9	2.3	100	154	267.1	-1.1	83 (86)	135	246.4	1.2	77 (77)	127
	年齢(歳)	42.1				42.4				44.1			
	勤続年数(年)	15.8				12.7				11.1			
女性	年齢計	259.4	0.5	100	128	229.7	-0.9	89 (90)	120	211.9	0.8	82 (81)	118
	20~24歳	202.6	-1.3	100	100	191.0	0.2	94 (93)	100	179.2	2.2	88 (85)	100
	25~29	232.1	-0.1	100	115	213.1	-0.8	92 (92)	112	198.2	0.1	85 (85)	111
	30~34	252.7	0.7	100	125	227.7	-2.4	90 (93)	119	211.4	0.9	84 (84)	118
	35~39	269.5	1.9	100	133	241.1	-1.8	89 (93)	126	223.7	1.5	83 (83)	125
	40~44	276.1	-2.7	100	136	244.4	-4.3	89 (90)	128	229.4	3.8	83 (78)	128
	45~49	295.6	-0.1	100	146	253.5	1.5	86 (84)	133	224.0	-2.7	76 (78)	125
	50~54	294.1	-1.7	100	145	251.7	2.3	86 (82)	132	225.5	-0.3	77 (76)	126
	55~59	279.4	1.7	100	138	243.2	2.1	87 (87)	127	223.7	2.7	80 (79)	125
	60~64	245.0	1.5	100	121	201.6	-3.9	82 (87)	106	197.8	-0.2	81 (82)	110
	65~69	247.0	-1.5	100	122	195.7	-2.6	79 (80)	102	199.5	3.0	81 (77)	111
	年齢(歳)	39.4				40.3				41.4			
	勤続年数(年)	10.2				8.7				8.7			

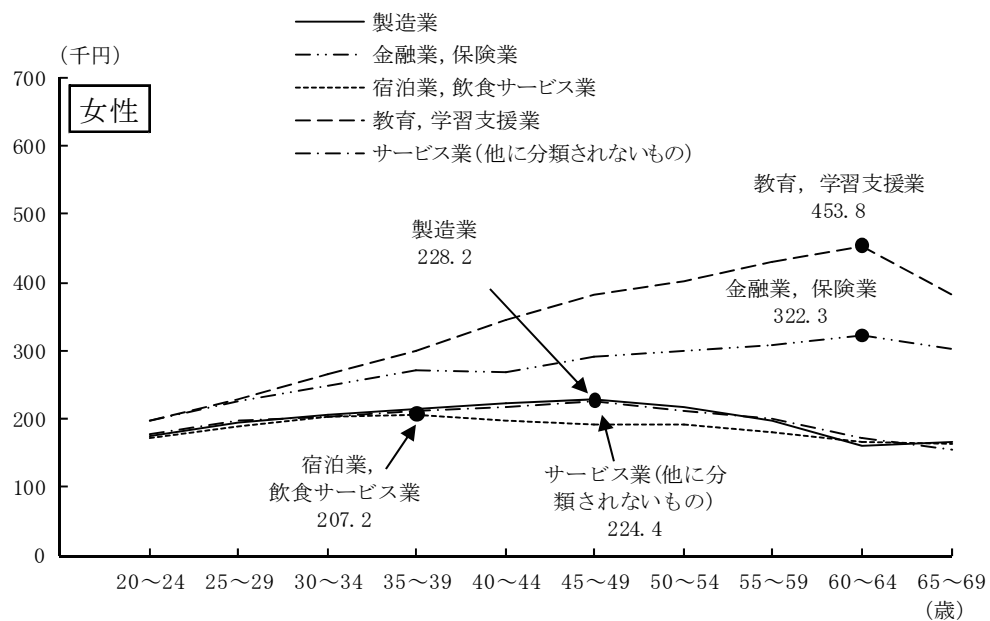
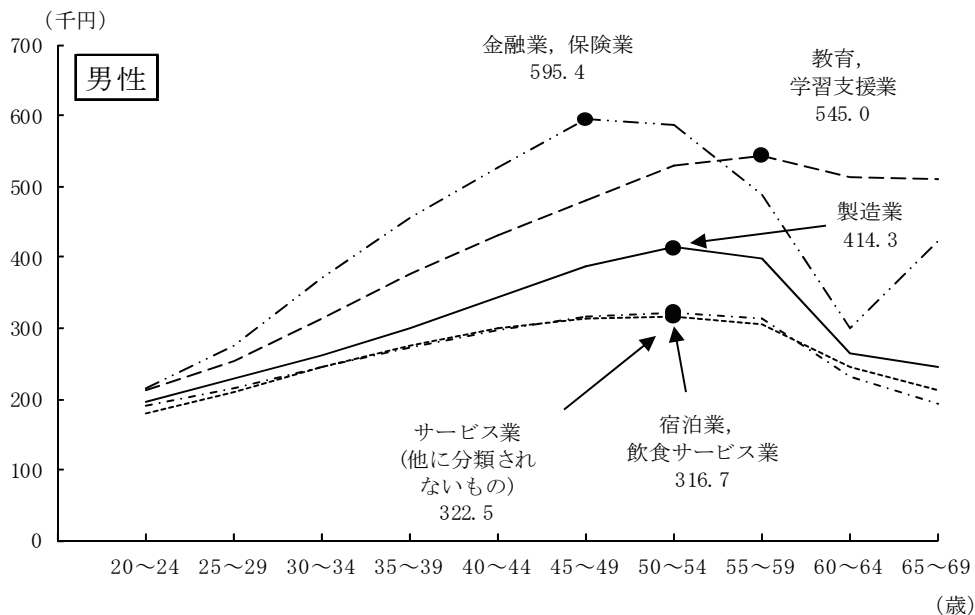
注:()内は、平成24年の数値である。

(5) 産業別にみた賃金

主な産業別に賃金をみると、男性では、金融業、保険業(459.9千円)が最も高く、次いで教育、学習支援業(440.8千円)となり、宿泊業、飲食サービス業(263.7千円)が最も低くなっている。女性では、教育、学習支援業(307.1千円)が最も高く、宿泊業、飲食サービス業(185.7千円)が最も低くなっている。

さらに賃金カーブをみると、男性では、金融業、保険業は45～49歳で賃金がピークとなり、その後60～64歳まで大きく下降している。また、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業(他に分類されないもの)は賃金カーブが緩やかとなっている。女性では、金融業、保険業及び教育、学習支援業は、年齢階級が高くなるとともにおおむね賃金も上昇しているが、製造業、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業(他に分類されないもの)は賃金カーブが緩やかとなっている。(第5図、第5表)

第5図 産業、性、年齢階級別賃金



第5表 主な産業、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級		建設業	製造業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	サービス業（他に分類されないもの）	
男性	年齢計	330.0	315.0	403.7	265.5	326.7	459.9	399.1	263.7	285.2	440.8	347.2	268.5	
	20～24歳	210.4	196.7	217.5	205.4	200.0	215.2	212.6	178.2	192.4	212.9	203.8	191.8	
	25～29	240.1	229.0	263.9	225.6	233.0	275.9	263.4	210.2	229.0	252.1	244.8	216.3	
	30～34	277.4	262.7	322.0	253.8	270.1	369.9	324.2	245.4	274.5	313.8	277.5	244.2	
	35～39	314.3	298.9	390.4	268.3	314.0	455.4	377.7	275.5	303.3	376.5	321.1	273.2	
	40～44	355.7	345.0	450.9	284.3	362.6	526.0	429.8	299.1	336.0	430.1	379.7	298.0	
	45～49	394.2	386.6	511.9	288.3	398.3	595.4	495.1	314.6	354.5	481.4	451.0	316.6	
	50～54	407.0	414.3	556.8	306.5	418.7	588.3	521.0	316.7	358.2	529.5	489.8	322.5	
	55～59	398.4	398.8	521.4	286.5	402.5	487.8	492.9	304.1	337.0	545.0	509.5	313.3	
	60～64	287.9	265.3	328.6	215.7	303.8	300.6	362.6	244.7	250.8	513.7	444.4	230.4	
	65～69	272.9	245.2 *	314.5	190.4	261.3	423.0 *	388.7	213.5	221.3	509.8 *	551.8	194.3	
	賃金(年齢計)の対前年増減率(%)	2.3	-1.2	-3.1	-1.7	-1.5	-1.2	0.7	-0.8	0.4	-0.4	-0.3	2.2	
	年齢(歳)	44.9	41.7	40.4	46.4	41.9	43.0	42.6	40.9	39.3	46.6	39.9	45.0	
	勤続年数(年)	14.5	14.7	13.3	12.3	13.8	16.2	13.4	9.3	9.5	14.0	8.3	9.6	
	年齢階級間賃金格差 (20歳～24歳 100)	年齢計	157	160	186	129	163	214	188	148	148	207	170	140
		20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		25～29	114	116	121	110	117	128	124	118	119	118	120	113
		30～34	132	134	148	124	135	172	152	138	143	147	136	127
		35～39	149	152	179	131	157	212	178	155	158	177	158	142
		40～44	169	175	207	138	181	244	202	168	175	202	186	155
		45～49	187	197	235	140	199	277	233	177	184	226	221	165
		50～54	193	211	256	149	209	273	245	178	186	249	240	168
		55～59	189	203	240	139	201	227	232	171	175	256	250	163
		60～64	137	135	151	105	152	140	171	137	130	241	218	120
		65～69	130	125	145	93	131	197	183	120	115	239	271	101
女性		年齢計	227.6	204.1	290.5	203.1	218.1	265.5	281.0	185.7	210.5	307.1	245.5	203.5
		20～24歳	188.4	174.3	208.7	185.8	182.8	196.4	199.9	173.1	186.4	196.0	202.0	177.5
		25～29	222.9	194.0	244.8	203.9	206.8	226.2	246.2	188.7	205.1	228.4	224.1	196.6
	30～34	221.3	205.2	276.4	208.6	218.7	247.8	278.4	201.9	226.1	264.2	241.5	201.7	
	35～39	224.9	215.0	311.7	202.0	229.9	270.3	300.1	207.2	232.7	300.6	259.6	211.6	
	40～44	237.1	224.1	314.4	217.4	243.8	269.2	295.2	198.7	231.3	344.6	259.1	217.8	
	45～49	253.6	228.2	368.9	208.9	243.7	290.4	319.0	192.5	227.3	382.2	262.5	224.4	
	50～54	232.3	217.8	348.6	212.9	235.2	300.1	330.2	192.9	220.4	401.2	266.4	213.0	
	55～59	252.6	198.5 *	359.6	197.7	213.0	309.4	295.5	179.5	211.2	431.5	270.8	199.8	
	60～64	213.4	160.4	218.3	176.0	187.8	322.3	240.4	166.2	178.2	453.8	233.3	173.2	
	65～69	217.2	166.7 *	313.0	184.3	192.0	303.8 *	205.5	163.5 *	188.7	381.6	232.9	154.6	
	賃金(年齢計)の対前年増減率(%)	1.5	1.1	-3.7	-2.2	-0.8	-0.2	1.4	-1.3	1.3	-1.1	-0.7	-3.0	
	年齢(歳)	41.1	42.1	37.3	41.5	39.2	41.0	38.7	40.5	38.3	38.8	40.3	41.6	
	勤続年数(年)	11.0	11.4	9.4	8.8	9.3	11.1	9.5	7.1	7.8	9.7	7.8	6.9	
年齢階級間賃金格差 (20歳～24歳 100)	年齢計	121	117	139	109	119	135	141	107	113	157	122	115	
	20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	25～29	118	111	117	110	113	115	123	109	110	117	111	111	
	30～34	117	118	132	112	120	126	139	117	121	135	120	114	
	35～39	119	123	149	109	126	138	150	120	125	153	129	119	
	40～44	126	129	151	117	133	137	148	115	124	176	128	123	
	45～49	135	131	177	112	133	148	160	111	122	195	130	126	
	50～54	123	125	167	115	129	153	165	111	118	205	132	120	
	55～59	134	114	172	106	117	158	148	104	113	220	134	113	
	60～64	113	92	105	95	103	164	120	96	96	232	115	98	
65～69	115	96	150	99	105	155	103	94	101	195	115	87		

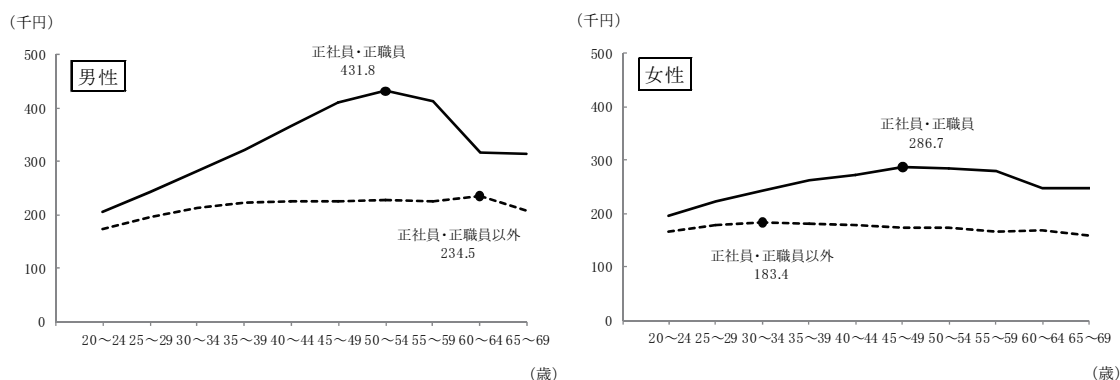
(6) 雇用形態別の賃金

雇用形態別の賃金をみると、正社員・正職員314.7千円（年齢41.4歳、勤続12.9年）、正社員・正職員以外195.3千円（年齢45.5歳、勤続7.1年）となっている。男女別にみると、男性では、正社員・正職員340.4千円（前年比1.0%減）、正社員・正職員以外216.9千円（同0.7%減）、女性では、正社員・正職員251.8千円（同0.2%減）、正社員・正職員以外173.9千円（同0.5%減）となっている。

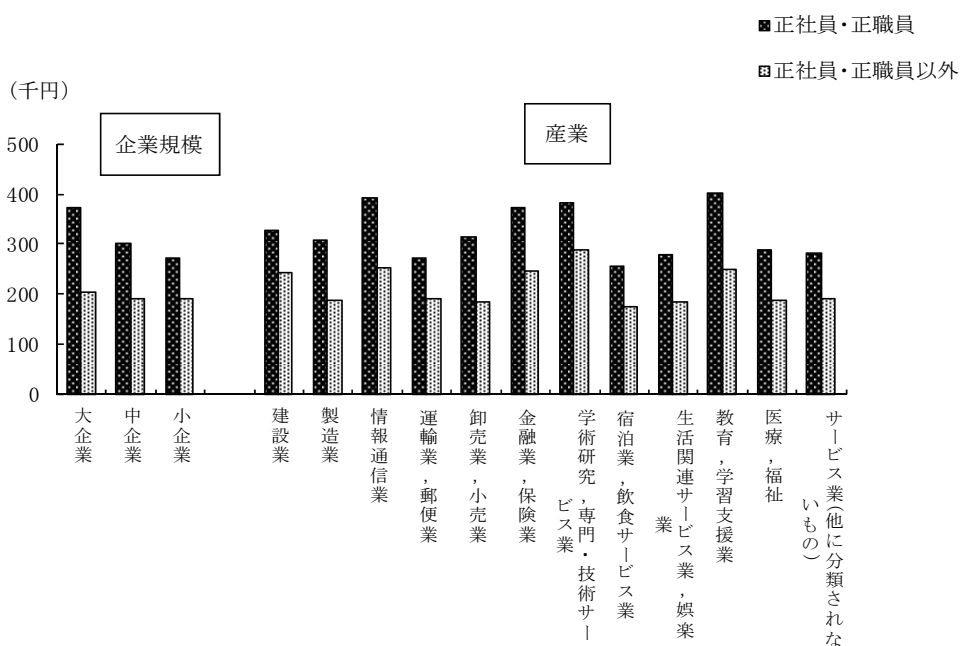
年齢階級別にみると、正社員・正職員以外は、男女いずれも年齢階級が高くなっても賃金の上昇があまり見られない。

正社員・正職員の賃金を100とすると、正社員・正職員以外の賃金は、男女計で62（前年62）、男性で64（同64）、女性で69（同69）となっている。なお、賃金格差が大きいのは、企業規模別では、大企業で55（同55）、主な産業別では、卸売業、小売業で58（同59）となっている。（第6図、第7図、第6表、第7表、第8表）

第6図 雇用形態、性、年齢階級別賃金



第7図 雇用形態、企業規模・主な産業別賃金



第6表 雇用形態、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

年齢階級	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	
年齢計	314.7	-0.7	195.3	-0.6	62 (62)	340.4	-1.0	216.9	-0.7	64 (64)	251.8	-0.2	173.9	-0.5	69 (69)
20～24歳	200.9	0.2	168.2	-2.0	84 (86)	205.0	0.4	172.3	-3.3	84 (87)	196.2	0.1	164.9	-0.6	84 (85)
25～29	235.1	-0.3	188.0	-0.1	80 (80)	242.4	0.0	196.1	-0.9	81 (82)	223.0	-1.1	179.2	-0.1	80 (80)
30～34	270.4	-0.8	197.8	-1.4	73 (74)	281.9	-1.1	213.0	-1.7	76 (76)	243.2	-0.7	183.4	-1.3	75 (76)
35～39	306.0	-1.5	198.6	-0.8	65 (64)	321.5	-1.8	222.4	0.9	69 (67)	262.8	0.3	181.2	-1.7	69 (70)
40～44	342.1	-2.0	195.8	-0.4	57 (56)	365.5	-2.2	226.3	2.4	62 (59)	272.3	-2.2	177.7	-1.4	65 (65)
45～49	378.3	-2.0	192.4	-0.5	51 (50)	409.5	-2.6	224.3	-0.6	55 (54)	286.7	0.4	174.7	-0.6	61 (61)
50～54	394.7	-1.1	193.8	1.4	49 (48)	431.8	-1.5	229.0	-0.0	53 (52)	285.2	0.2	173.5	2.2	61 (60)
55～59	380.3	-1.1	191.5	-1.3	50 (50)	412.4	-1.4	225.4	0.1	55 (54)	279.4	2.6	165.5	-1.1	59 (61)
60～64	300.8	1.1	215.6	0.0	72 (72)	318.0	2.2	234.5	-0.4	74 (76)	248.3	-2.7	167.9	1.8	68 (65)
65～69	296.4	5.3	195.3	-1.4	66 (70)	313.4	6.1	207.1	-3.5	66 (73)	248.0	1.2	159.9	3.4	64 (63)
年齢(歳)	41.4		45.5			42.2		47.4			39.4		43.5		
勤続年数(年)	12.9		7.1			14.0		8.0			10.1		6.3		

注：()内は、平成24年の数値である。

第7表 雇用形態、性、企業規模別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

企業規模	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	
大企業	372.3	-0.2	204.6	-0.1	55 (55)	399.1	-0.8	224.4	0.7	56 (55)	289.2	0.9	184.1	-1.3	64 (65)
中企業	300.8	-2.0	190.7	-1.6	63 (63)	324.9	-2.0	210.2	-3.0	65 (65)	249.7	-1.2	172.4	-0.4	69 (68)
小企業	272.1	1.4	190.3	1.0	70 (70)	293.0	1.2	217.3	1.1	74 (74)	223.9	1.0	163.1	1.9	73 (72)

注：()内は、平成24年の数値である。

第8表 雇用形態、性、主な産業別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

産業	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	
産業計	314.7	-0.7	195.3	-0.6	62 (62)	340.4	-1.0	216.9	-0.7	64 (64)	251.8	-0.2	173.9	-0.5	69 (69)
建設業	325.2	1.8	241.7	-3.8	74 (79)	337.5	1.8	253.5	-1.8	75 (78)	233.5	2.5	197.5	0.4	85 (86)
製造業	307.0	-0.6	187.0	0.1	61 (60)	326.5	-1.2	211.4	-1.1	65 (65)	222.7	1.1	158.2	1.2	71 (71)
情報通信業	392.1	-3.0	251.9	-0.0	64 (62)	414.2	-2.4	281.2	0.9	68 (66)	310.8	-2.3	219.5	-1.1	71 (70)
運輸業、郵便業	270.4	-1.7	190.9	-1.3	71 (70)	275.2	-1.8	199.1	-1.7	72 (72)	221.3	-2.4	165.6	0.9	75 (72)
卸売業、小売業	314.5	-0.7	182.5	-1.9	58 (59)	338.8	-1.2	206.7	-4.4	61 (63)	242.0	-0.3	166.9	0.0	69 (69)
金融業、保険業	372.5	-1.3	244.5	8.3	66 (60)	467.0	-1.6	326.8	18.3	70 (58)	272.3	-0.1	199.6	0.4	73 (73)
学術研究、専門・技術サービス業	382.4	1.2	286.0	1.6	75 (74)	404.7	0.9	338.1	1.7	84 (83)	297.9	2.3	201.6	-6.8	68 (74)
宿泊業、飲食サービス業	255.6	-1.1	174.9	-1.2	68 (69)	279.4	-1.1	197.5	1.1	71 (69)	205.1	-0.3	159.5	-3.1	78 (80)
生活関連サービス業、娯楽業	278.9	1.6	183.9	-0.6	66 (67)	307.3	0.8	196.0	-2.0	64 (66)	230.4	1.8	174.9	0.2	76 (77)
教育、学習支援業	401.9	0.4	249.0	-1.9	62 (63)	454.7	0.0	286.8	-2.0	63 (64)	321.9	-0.2	217.8	-1.0	68 (68)
医療、福祉	287.4	-0.5	186.4	0.3	65 (64)	365.6	0.1	210.9	-2.2	58 (59)	257.4	-0.8	179.4	0.9	70 (69)
サービス業 (他に分類されないもの)	282.2	1.3	189.7	-2.2	67 (70)	296.9	1.7	196.8	-0.5	66 (68)	229.1	-2.7	180.9	-4.5	79 (80)

注：1)産業計には、上掲のほか、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。

2) ()内は、平成24年の数値である。

(7) 賃金の分布

賃金の分布を男女別にみると、男性では、55～59歳までは年齢階級が高くなるとともに労働者が最も多く分布する賃金階級も高くなる傾向にある。一方、女性では、年齢階級が高くなっても労働者が最も多く分布する賃金階級はあまり変わらない。

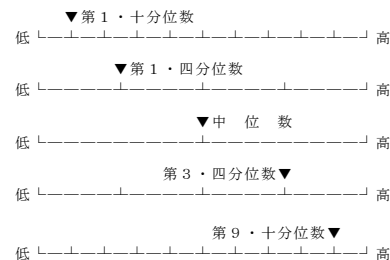
賃金分布の広がり分散係数でみると、男女いずれも年齢階級が高くなるとともにおおむね大きくなっている。また、学歴別に分位数で広がりを見ると、男女とも30歳以上の各年齢階級で大学・大学院卒が他の学歴に比べ大きくなっており、年齢階級が高くなるほどその傾向は顕著となっている。（第9表、第8図）

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-1）

賃金階級	男性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	1.0
120.0 ～ 139.9	0.5	1.0	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.5	1.4	3.6
140.0 ～ 159.9	1.6	3.8	2.0	1.2	0.8	0.6	0.7	0.9	1.4	4.6	8.6
160.0 ～ 179.9	3.1	7.1	3.7	2.2	1.8	1.4	1.5	1.6	2.4	7.6	11.5
180.0 ～ 199.9	5.3	17.0	7.0	4.2	2.9	2.6	2.6	2.7	3.9	10.4	12.3
200.0 ～ 219.9	6.5	22.7	11.6	6.4	4.2	3.2	3.1	3.1	3.6	10.2	10.4
220.0 ～ 239.9	7.9	23.3	16.2	9.5	5.9	4.2	3.6	3.8	3.9	11.4	11.0
240.0 ～ 259.9	8.0	12.2	18.5	12.1	7.8	5.2	4.0	3.5	4.1	8.0	7.0
260.0 ～ 279.9	7.7	6.3	14.3	13.0	9.5	5.8	4.6	4.0	4.7	7.4	5.3
280.0 ～ 299.9	7.0	2.9	9.1	12.0	9.7	7.1	5.0	4.6	4.6	5.7	4.2
300.0 ～ 319.9	6.3	1.3	6.0	9.7	9.5	7.2	5.7	4.6	4.8	4.1	3.3
320.0 ～ 339.9	5.9	1.2	4.0	7.6	8.9	7.6	5.9	5.0	5.1	4.5	3.5
340.0 ～ 359.9	5.1	0.4	2.2	5.6	7.2	7.5	6.0	4.8	5.0	3.2	2.3
360.0 ～ 399.9	4.6	0.1	1.3	3.9	6.1	6.7	6.4	5.3	5.2	2.7	1.4
400.0 ～ 449.9	7.4	0.2	1.7	5.4	9.5	11.5	10.4	9.8	9.3	3.5	2.2
450.0 ～ 499.9	6.9	0.2	0.9	3.2	7.1	10.2	11.1	11.0	10.6	4.0	2.6
500.0 ～ 599.9	4.6	0.0	0.3	1.6	3.5	6.5	7.8	9.0	8.3	2.7	1.4
600.0 ～ 699.9	5.5	0.1	0.4	1.1	3.0	6.9	10.0	11.5	11.0	3.4	2.5
700.0 ～ 799.9	2.8	0.0	0.1	0.3	1.1	2.9	5.9	6.9	5.4	2.0	1.5
800.0 ～ 899.9	1.4	-	0.1	0.3	0.6	1.1	2.5	3.6	2.9	1.2	1.2
900.0 ～ 999.9	0.7	-	0.1	0.1	0.2	0.6	1.1	1.7	1.4	0.6	1.1
1000.0 ～ 1199.9	0.3	-	0.0	0.1	0.1	0.2	0.7	1.0	0.7	0.2	0.3
1200.0 ～	0.3	-	0.0	0.0	0.2	0.3	0.7	0.7	0.6	0.4	0.9
1200.0 ～	0.3	-	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.7	0.6	0.5	0.9
平均値 (千円)	326.0	200.7	236.5	275.2	314.5	357.3	397.6	417.7	394.8	281.1	263.7
第1・十分位数 (千円)	177.6	155.2	172.2	186.8	200.5	208.4	210.5	208.2	189.2	151.0	133.6
第1・四分位数 (千円)	219.7	175.9	200.2	222.0	243.1	264.9	278.3	282.3	261.6	181.2	160.5
中位数 (千円)	286.6	198.5	229.6	261.6	295.1	332.3	362.5	382.6	362.9	229.1	204.5
第3・四分位数 (千円)	387.2	220.0	262.3	309.5	361.8	417.4	474.7	506.8	482.9	317.2	280.9
第9・十分位数 (千円)	517.5	248.3	304.4	372.9	439.1	525.9	615.4	658.0	621.5	463.3	444.0
十分位分散係数	0.59	0.23	0.29	0.36	0.40	0.48	0.56	0.59	0.60	0.68	0.76
	(0.60)	(0.23)	(0.28)	(0.35)	(0.40)	(0.50)	(0.55)	(0.59)	(0.58)	(0.65)	(0.76)
四分位分散係数	0.29	0.11	0.14	0.17	0.20	0.23	0.27	0.29	0.31	0.30	0.29
	(0.30)	(0.11)	(0.14)	(0.17)	(0.20)	(0.24)	(0.27)	(0.30)	(0.30)	(0.28)	(0.31)

注： 1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、該当労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べて、以下の説明内容に該当する者の賃金である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数とは、分布の広がり示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

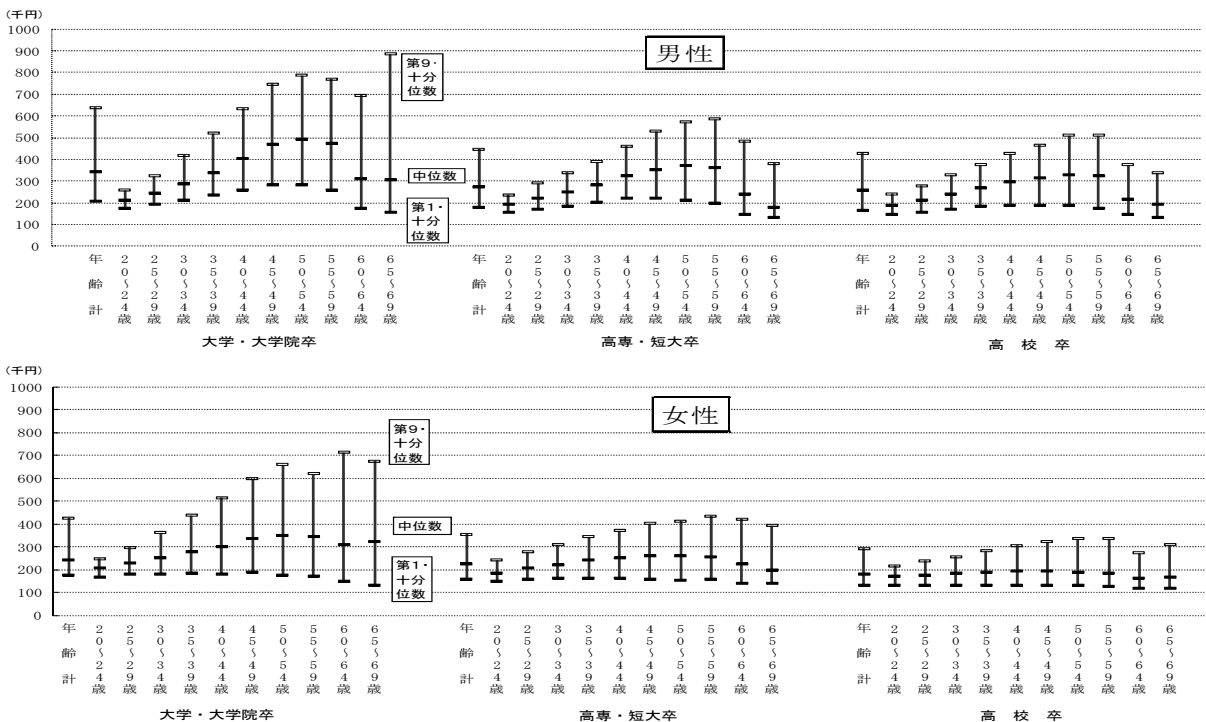
$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}} \quad \text{○} \quad \text{四分位分散係数} = \frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3) () 内は、平成24年の数値である。

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-2）

賃金階級	女性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.6	0.3	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	1.4	2.1
120.0 ～ 139.9	2.5	1.5	1.4	1.6	1.8	2.2	2.4	2.9	3.6	7.3	9.2
140.0 ～ 159.9	6.4	5.8	4.2	4.6	4.8	5.8	6.1	7.0	8.6	14.9	15.2
160.0 ～ 179.9	10.0	13.2	7.7	7.4	7.8	8.3	9.3	10.4	11.6	17.8	15.9
180.0 ～ 199.9	11.8	19.9	11.6	10.1	9.4	9.5	10.5	11.2	11.0	13.1	13.2
200.0 ～ 219.9	12.4	22.5	15.8	12.3	10.0	9.1	9.9	9.6	10.8	9.8	10.2
220.0 ～ 239.9	11.5	17.3	17.3	13.2	10.4	9.2	8.6	8.5	8.0	8.2	5.6
240.0 ～ 259.9	9.6	9.8	15.0	12.7	10.1	9.2	7.1	6.7	6.6	4.8	5.3
260.0 ～ 279.9	7.8	5.1	10.4	10.3	9.6	8.3	6.8	6.4	6.1	4.6	4.8
280.0 ～ 299.9	6.0	2.2	6.5	8.1	8.5	7.2	6.2	5.5	4.8	2.8	1.9
300.0 ～ 319.9	4.4	1.3	3.6	5.6	6.2	6.0	4.9	4.9	4.0	2.1	2.3
320.0 ～ 359.9	3.8	0.7	2.5	4.2	5.3	5.6	5.3	4.3	3.3	2.0	2.7
360.0 ～ 399.9	4.9	0.3	1.9	4.6	6.7	7.6	7.2	6.4	6.5	2.7	3.3
400.0 ～ 449.9	3.0	0.1	0.8	2.3	3.7	4.5	5.0	5.0	3.9	1.9	1.8
450.0 ～ 499.9	2.2	0.0	0.5	0.9	2.3	2.9	3.9	4.5	3.7	1.8	1.4
500.0 ～ 599.9	1.2	0.0	0.3	0.6	1.1	1.5	2.3	2.0	2.7	1.3	1.1
600.0 ～ 699.9	1.1	0.0	0.2	0.4	0.8	1.4	2.0	2.0	2.1	1.4	2.0
700.0 ～ 799.9	0.5	-	0.0	0.4	0.4	0.4	0.9	1.2	1.0	0.9	0.5
800.0 ～ 899.9	0.2	-	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.5	0.4	0.6	0.6
900.0 ～ 999.9	0.1	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2
1000.0 ～	0.1	-	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.1	0.3	0.2
平均値 (千円)	232.6	190.4	215.2	230.5	244.6	249.8	256.9	254.2	245.2	209.0	208.1
第1・十分位数 (千円)	141.1	144.5	151.9	149.8	147.5	143.7	141.8	138.8	133.9	122.0	117.7
第1・四分位数 (千円)	169.4	164.7	179.7	181.4	181.2	177.0	172.6	167.2	160.7	141.5	138.1
中位数 (千円)	210.4	187.7	210.7	220.4	230.3	231.0	226.4	219.7	208.6	172.7	169.7
第3・四分位数 (千円)	267.7	212.6	243.0	265.1	286.4	298.2	310.4	305.6	295.6	229.8	233.7
第9・十分位数 (千円)	345.1	239.1	279.3	316.8	349.5	369.0	400.7	406.7	406.1	335.2	341.7
十分位分散係数	0.48	0.25	0.30	0.38	0.44	0.49	0.57	0.61	0.65	0.62	0.66
	(0.48)	(0.26)	(0.31)	(0.36)	(0.44)	(0.49)	(0.57)	(0.61)	(0.63)	(0.64)	(0.72)
四分位分散係数	0.23	0.13	0.15	0.19	0.23	0.26	0.30	0.32	0.32	0.26	0.28
	(0.23)	(0.13)	(0.16)	(0.18)	(0.22)	(0.27)	(0.31)	(0.32)	(0.31)	(0.26)	(0.28)

第8図 性、学歴、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数



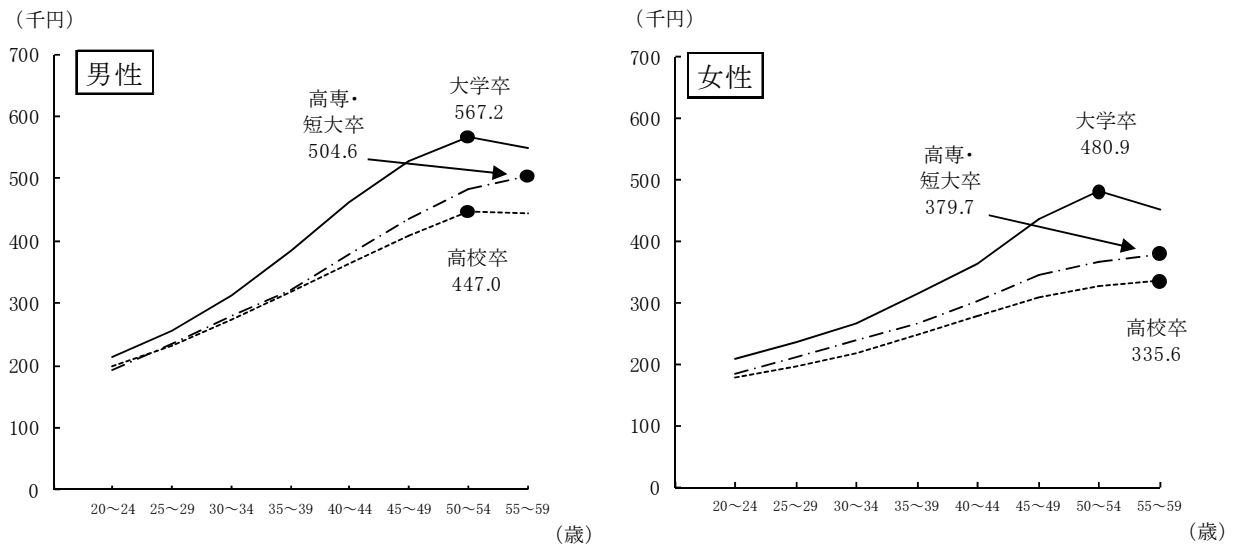
注：第9表 注：1)参照。

(8) 標準労働者の賃金

標準労働者について、賃金がピークとなる年齢階級を学歴別にみると、男性では、大学卒及び高校卒で50～54歳、高専・短大卒で55～59歳、女性では、大学卒で50～54歳、高専・短大卒及び高校卒で55～59歳となっている。

学歴別に20～24歳の賃金を100とすると、男性では、大学卒及び高校卒で賃金がピークとなる50～54歳で大学卒が264、高校卒が226、高専・短大卒で賃金がピークとなる55～59歳で263、女性では、大学卒で賃金がピークとなる50～54歳で230、高専・短大卒及び高校卒で賃金がピークとなる55～59歳で高専・短大卒が206、高校卒が188となっている。（第9図、第10表）

第9図 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金



第10表 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級	大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	391.2	-2.6	182	312.0	-0.1	162	323.4	-1.3	163
	20～24歳	214.9	-1.0	100	192.1	-0.8	100	197.8	-0.3	100
	25～29	256.1	0.5	119	234.0	-0.0	122	231.4	-2.7	117
	30～34	312.5	-3.3	145	278.3	0.4	145	273.6	-2.4	138
	35～39	385.0	-0.2	179	322.7	-1.3	168	317.9	-1.0	161
	40～44	463.0	-2.6	215	377.8	-0.8	197	362.4	-1.9	183
	45～49	528.2	-4.0	246	434.0	-2.0	226	409.3	-1.2	207
	50～54	567.2	-4.3	264	482.3	0.4	251	447.0	-0.8	226
	55～59	550.0	-0.9	256	504.6	0.9	263	444.5	-1.4	225
女性	年齢計	258.1	-1.9	123	239.8	-1.2	130	229.8	-0.2	128
	20～24歳	209.0	-0.4	100	184.6	-1.5	100	178.9	0.2	100
	25～29	235.1	-1.2	112	210.6	0.2	114	195.6	-2.5	109
	30～34	267.1	-3.0	128	239.7	-1.7	130	218.6	-2.1	122
	35～39	313.6	0.0	150	267.5	-1.3	145	248.7	-0.4	139
	40～44	364.9	-4.1	175	303.7	-1.9	165	278.2	-0.9	156
	45～49	437.0	-4.1	209	344.3	-1.1	187	308.4	-1.4	172
	50～54	480.9	-8.6	230	365.6	-3.9	198	326.9	1.2	183
	55～59	451.8	-6.7	216	379.7	2.6	206	335.6	1.2	188

(9) 製造業における労働者の種類別にみた賃金

製造業について、賃金がピークとなる年齢階級を労働者の種類別にみると、男性では、生産労働者が55～59歳で323.5千円、管理・事務・技術労働者が50～54歳で501.2千円、女性では、生産労働者が40～44歳で185.5千円、管理・事務・技術労働者が45～49歳で281.3千円となっている（第11表）。

第11表 製造業の労働者の種類、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性						女性					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	263.9	-0.1	136	387.8	-1.0	187	173.4	1.3	105	245.2	0.5	129
20～24歳	194.1	0.5	100	207.3	-1.0	100	165.1	0.4	100	189.8	-1.1	100
25～29	218.1	-1.3	112	249.0	0.0	120	170.6	-0.1	103	216.4	-0.7	114
30～34	244.7	-0.7	126	294.2	-1.3	142	178.9	1.1	108	231.2	-1.9	122
35～39	269.4	-1.2	139	343.3	-0.0	166	183.5	0.7	111	245.8	-0.7	130
40～44	294.4	1.3	152	403.6	-2.7	195	185.5	2.5	112	258.8	-4.0	136
45～49	309.9	-0.6	160	460.4	-1.3	222	182.5	3.8	111	281.3	2.5	148
50～54	319.0	1.0	164	501.2	-0.3	242	178.4	5.3	108	280.3	2.4	148
55～59	323.5	0.8	167	487.0	-0.6	235	173.2	-1.8	105	264.2	4.1	139
60～64	228.0	-1.6	117	326.5	-0.1	158	146.5	-1.9	89	208.5	-4.1	110
年齢(歳)	40.4			43.6			43.3			40.6		
勤続年数(年)	13.2			16.9			10.5			12.5		

(10) 役職別にみた賃金

企業全体の常用労働者が100人以上の企業に属する労働者について、役職別の賃金をみると、男性では、部長級652.6千円（前年比3.4%減）、課長級513.2千円（同2.3%減）、係長級385.9千円（同2.1%減）、女性では、部長級667.2千円（同2.8%増）、課長級444.2千円（同0.6%減）、係長級335.1千円（同4.1%減）となっている（第12表）。

第12表 役職、性別賃金、対前年増減率及び役職・非役職間賃金格差
(企業規模100人以上)

役職	男性				女性			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間 賃金格差(非役職者 20～24歳=100)	年齢 (歳)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間 賃金格差(非役職者 20～24歳=100)	年齢 (歳)
部長級	652.6	-3.4	316 (327)	52.3	667.2	2.8	332 (321)	53.2
課長級	513.2	-2.3	249 (254)	47.8	444.2	-0.6	221 (221)	48.1
係長級	385.9	-2.1	187 (191)	44.0	335.1	-4.1	167 (173)	44.2
非役職者 (20～24歳)	206.4	-0.1	100 (100)		201.1	-0.6	100 (100)	

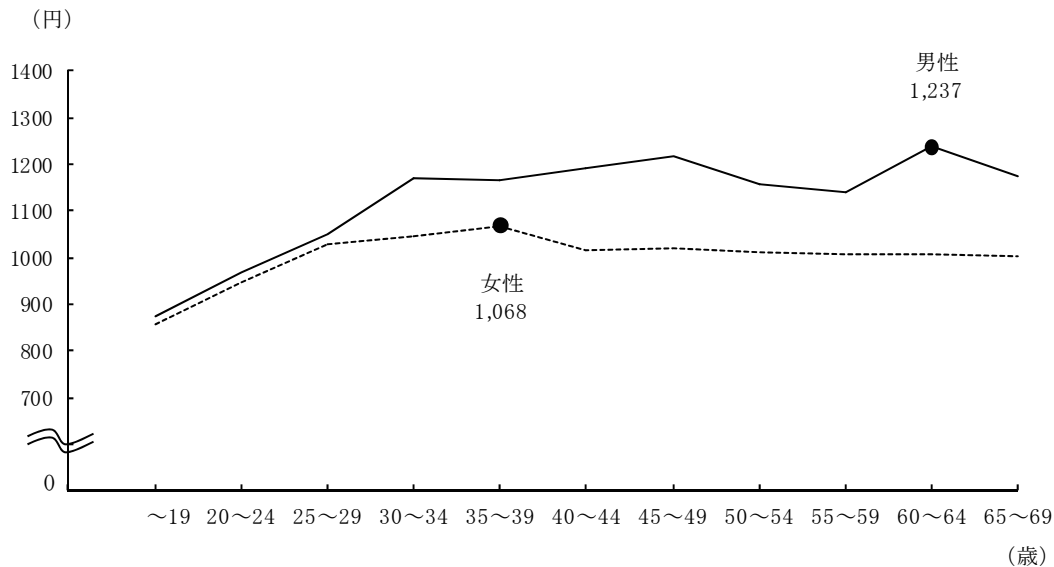
注: ()内は、平成24年の数値である。

2 短時間労働者の賃金

(1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間あたり賃金は、男性が1,095円（前年比0.1%増）、女性が1,007円（同0.6%増）となっている。男性、女性ともに25～29歳以降は1,000円を超えており、男性では、60～64歳で1,237円と最も高く、女性では、35～39歳で1,068円と最も高くなっている。（第10図、第13表）

第10図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間あたり賃金



第13表 短時間労働者の性、年齢階級別1時間あたり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	1時間あたり賃金(円)	対前年増減率(%)	年齢階級間賃金格差(20～24歳=100)	1時間あたり賃金(円)	対前年増減率(%)	年齢階級間賃金格差(20～24歳=100)
年齢計	1,095	0.1	113	1,007	0.6	106
～19歳	873	0.5	90	856	0.5	90
20～24	967	-0.7	100	949	-0.1	100
25～29	1,049	-2.8	108	1,028	1.6	108
30～34	1,170	1.7	121	1,044	-0.3	110
35～39	1,167	-2.9	121	1,068	1.1	113
40～44	1,191	-3.6	123	1,016	-1.2	107
45～49	1,218	0.2	126	1,019	0.5	107
50～54	1,158	-2.4	120	1,010	0.6	106
55～59	1,138	0.2	118	1,005	1.1	106
60～64	1,237	2.7	128	1,006	1.9	106
65～69	1,175	-1.8	122	1,003	0.5	106
年齢(歳)	42.7			45.5		
実労働日数(日)	15.8			17.0		
1日当たり所定内実労働時間数(時間)	5.4			5.2		
勤続年数(年)	5.0			5.8		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,052円（前年比0.2%減）、中企業が1,133円（同2.4%増）、小企業が1,117円（同1.7%減）、女性では、大企業が1,005円（同0.7%増）、中企業が1,021円（同1.6%増）、小企業が997円（同0.5%減）となっている（第14表）。

第14表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)
大 企 業	1,052	-0.2	100	1,005	0.7	100
中 企 業	1,133	2.4	108	1,021	1.6	102
小 企 業	1,117	-1.7	106	997	-0.5	99

(3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉が1,000円を超えている（第15表）。

第15表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率 (%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男 性	産業計	1,095	0.1	100
	製造業	1,198	-0.1	109
	運輸業、郵便業	1,128	1.0	103
	卸売業、小売業	1,000	-1.1	91
	宿泊業、飲食サービス業	921	-0.4	84
	サービス業(他に分類されないもの)	1,078	2.2	98
女 性	産業計	1,007	0.6	100
	製造業	904	1.0	90
	卸売業、小売業	941	0.1	93
	宿泊業、飲食サービス業	899	-0.2	89
	医療、福祉	1,249	2.0	124
	サービス業(他に分類されないもの)	965	-2.5	96

注：産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、さらに、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。

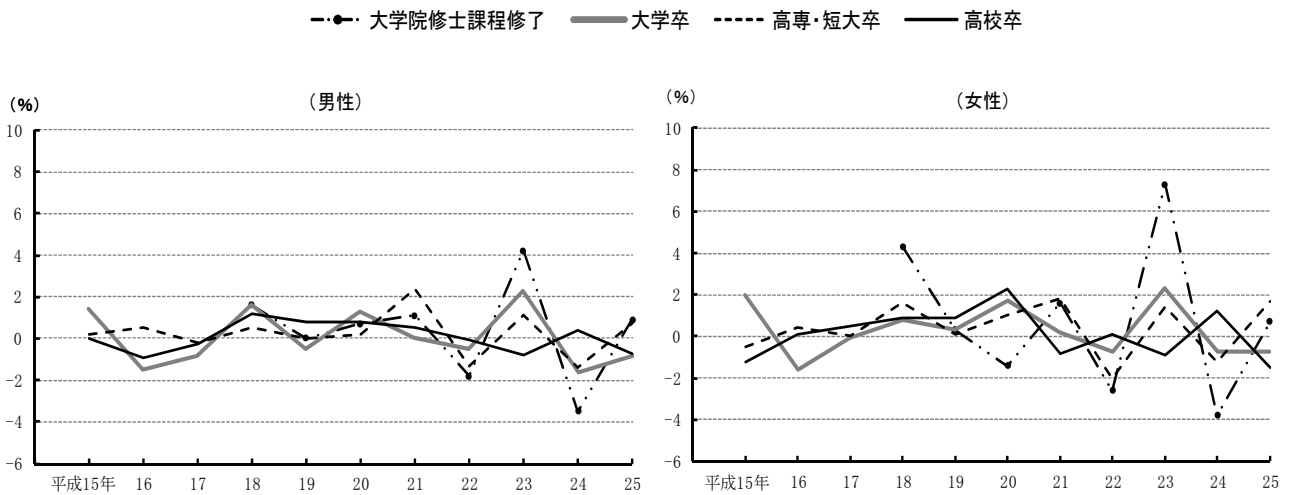
3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

平成25年の初任給を高校卒以上の学歴別にみると、男女計、男女別ともに大学院修士課程修了及び高専・短大卒が前年を上回り、大学卒及び高校卒が前年を下回っている（第11図、第16表、第12図）。

男女計	大学院修士課程修了	228.1 千円	(対前年増減率 0.9%)
	大 学 卒	198.0 千円	(" -0.8%)
	高 専 ・ 短 大 卒	172.2 千円	(" 1.2%)
	高 校 卒	156.0 千円	(" -1.2%)
男性	大学院修士課程修了	227.7 千円	(対前年増減率 0.9%)
	大 学 卒	200.2 千円	(" -0.8%)
	高 専 ・ 短 大 卒	174.2 千円	(" 0.7%)
	高 校 卒	158.9 千円	(" -0.7%)
女性	大学院修士課程修了	230.0 千円	(対前年増減率 0.7%)
	大 学 卒	195.1 千円	(" -0.7%)
	高 専 ・ 短 大 卒	171.2 千円	(" 1.7%)
	高 校 卒	151.3 千円	(" -1.5%)

第11図 性、学歴別初任給の対前年増減率の推移



注：大学院修士課程修了については、平成17年から調査している。

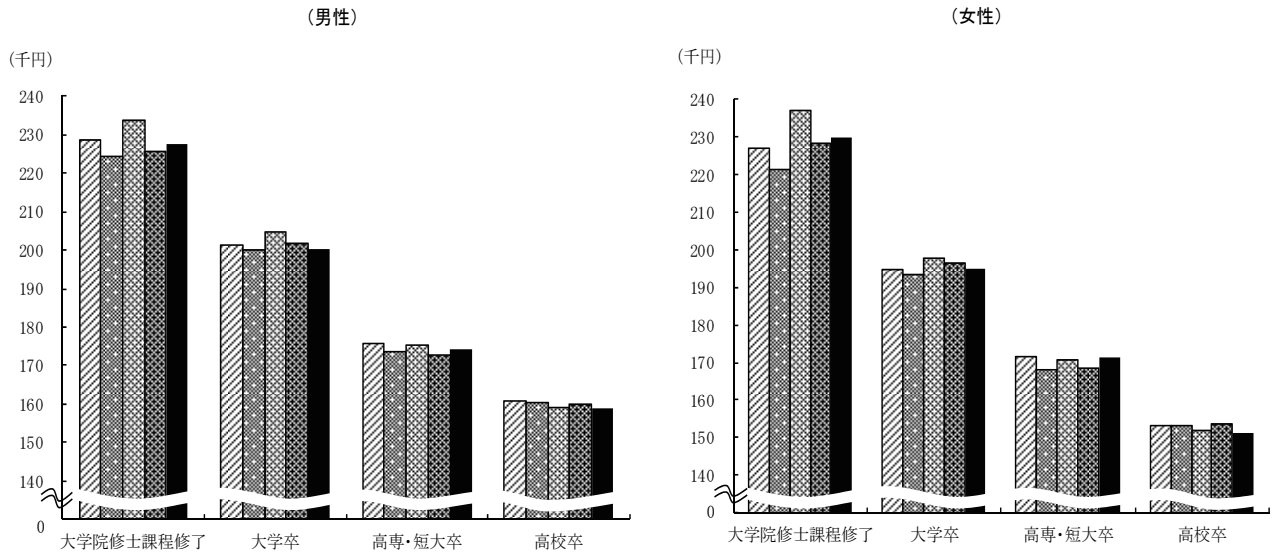
第16表 性、学歴別初任給の推移

年	男女計				男性				女性			
	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒
平成21年	千円 228.4 (1.1)	千円 198.8 (0.1)	千円 173.2 (2.1)	千円 157.8 (0.1)	千円 228.6 (1.1)	千円 201.4 (0.0)	千円 175.8 (2.4)	千円 160.8 (0.5)	千円 227.1 (1.6)	千円 194.9 (0.2)	千円 171.7 (1.8)	千円 153.0 (-0.8)
22	224.0 (-1.9)	197.4 (-0.7)	170.3 (-1.7)	157.8 (0.0)	224.5 (-1.8)	200.3 (-0.5)	173.6 (-1.3)	160.7 (-0.1)	221.2 (-2.6)	193.5 (-0.7)	168.2 (-2.0)	153.2 (0.1)
23	234.5 (4.7)	202.0 (2.3)	172.5 (1.3)	156.5 (-0.8)	233.9 (4.2)	205.0 (2.3)	175.5 (1.1)	159.4 (-0.8)	237.3 (7.3)	197.9 (2.3)	170.5 (1.4)	151.8 (-0.9)
24	226.1 (-3.6)	199.6 (-1.2)	170.1 (-1.4)	157.9 (0.9)	225.6 (-3.5)	201.8 (-1.6)	173.0 (-1.4)	160.1 (0.4)	228.4 (-3.8)	196.5 (-0.7)	168.4 (-1.2)	153.6 (1.2)
25	228.1 (0.9)	198.0 (-0.8)	172.2 (1.2)	156.0 (-1.2)	227.7 (0.9)	200.2 (-0.8)	174.2 (0.7)	158.9 (-0.7)	230.0 (0.7)	195.1 (-0.7)	171.2 (1.7)	151.3 (-1.5)

注：()内は、対前年増減率(%)である。

第12図 性、学歴別初任給の推移

□平成21年 ▨平成22年 ▩平成23年 ▪平成24年 ■平成25年



(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、大企業（常用労働者1,000人以上）の女性を除き、男女ともに前年を下回っている。また、高校卒では、大企業の男性を除き、男女ともに前年を下回っている。

初任給の企業規模間格差（大企業=100）をみると、大学卒では、中企業の男性を除き、格差が拡大している。高校卒では、中企業、小企業ともに格差が拡大している。（第17表）

第17表 性、企業規模、学歴別初任給及び対前年増減率、企業規模間格差

性、企業規模			大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒		
			初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)
			平成25年	24年		平成25年	24年		平成25年	24年		平成25年	24年	
初任給及び対前年増減率	男女計	企業規模計	228.1	226.1	0.9	198.0	199.6	-0.8	172.2	170.1	1.2	156.0	157.9	-1.2
		大企業	232.9	230.2	1.2	202.5	202.2	0.1	184.1	177.6	3.7	160.2	159.4	0.5
		中企業	220.3	219.9	0.2	197.0	198.2	-0.6	172.5	169.0	2.1	154.9	157.6	-1.7
		小企業	215.1	210.7	2.1	190.0	196.5	-3.3	166.9	167.3	-0.2	154.1	156.8	-1.7
	男性	企業規模計	227.7	225.6	0.9	200.2	201.8	-0.8	174.2	173.0	0.7	158.9	160.1	-0.7
		大企業	231.4	229.4	0.9	203.6	204.0	-0.2	181.5	177.7	2.1	161.2	159.8	0.9
		中企業	221.6	219.9	0.8	199.1	200.1	-0.5	172.3	171.7	0.3	157.8	160.0	-1.4
		小企業	214.6	208.3	3.0	194.6	200.2	-2.8	170.5	170.7	-0.1	158.1	160.4	-1.4
	女性	企業規模計	230.0	228.4	0.7	195.1	196.5	-0.7	171.2	168.4	1.7	151.3	153.6	-1.5
		大企業	240.6	234.7	2.5	200.9	199.6	0.7	186.7	177.5	5.2	157.4	157.6	-0.1
		中企業	216.3	219.7	-1.5	194.3	195.1	-0.4	172.7	166.6	3.7	151.1	154.0	-1.9
		小企業	216.8	217.6	-0.4	185.1	192.5	-3.8	165.9	166.4	-0.3	148.1	151.0	-1.9
企業規模間格差	男女計	中企業	95	96	/	97	98	/	94	95	/	97	99	/
		小企業	92	92	/	94	97	/	91	94	/	96	98	/
	男性	中企業	96	96	/	98	98	/	95	97	/	98	100	/
		小企業	93	91	/	96	98	/	94	96	/	98	100	/
	女性	中企業	90	94	/	97	98	/	93	94	/	96	98	/
		小企業	90	93	/	92	96	/	89	94	/	94	96	/

注：1） 常用労働者1,000人以上の企業を大企業、100～999人の企業を中企業、10～99人の企業を小企業としている。

2） 企業規模間格差は、大企業の初任給を100としている。

(3) 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、高い産業は、男女ともに情報通信業（男性212.2千円、女性210.9千円）、学術研究，専門・技術サービス業（男性208.0千円、女性205.2千円）となっている。一方、低い産業は、男性は医療，福祉（189.6千円）、運輸業，郵便業（190.8千円）、女性は運輸業，郵便業（183.6千円）、金融業，保険業（188.4千円）、宿泊業，飲食サービス業（188.4千円）となっている。高校卒では、高い産業は、男女ともに生活関連サービス業，娯楽業（男性178.5千円、女性161.0千円）、情報通信業（男性165.2千円、女性157.3千円）となっている。一方、低い産業は、男性は医療，福祉（145.9千円）、金融業，保険業（147.7千円）、女性は建設業（143.1千円）、金融業，保険業（146.3千円）となっている。（第18表）

第18表 性、産業、学歴別初任給及び対前年増減率

性、産業	大学院修士課程修了			大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	
	平成25年	24年		平成25年	24年		平成25年	24年		平成25年	24年		
男 計	産業計	228.1	226.1	0.9	198.0	199.6	-0.8	172.2	170.1	1.2	156.0	157.9	-1.2
	建設業	225.0	219.0	2.7	198.0	203.7	-2.8	178.0	181.0	-1.7	159.5	165.2	-3.5
	製造業	225.0	225.9	-0.4	198.7	199.7	-0.5	172.6	173.7	-0.6	157.2	158.0	-0.5
	情報通信業	236.3	224.5	5.3	211.7	205.3	3.1	177.1	172.2	2.8	160.0	160.2	-0.1
	運輸業，郵便業	218.8	221.3	-1.1	188.6	193.5	-2.5	179.8	167.7	7.2	159.4	159.9	-0.3
	卸売業，小売業	244.6	221.8	10.3	199.1	202.2	-1.5	169.0	169.7	-0.4	154.0	155.8	-1.2
	金融業，保険業	221.4	224.6	-1.4	193.3	193.0	0.2	159.3	159.0	0.2	146.4	144.8	1.1
	学術研究，専門・技術サービス業	225.8	229.7	-1.7	206.9	211.4	-2.1	175.7	171.3	2.6	156.9	157.8	-0.6
	宿泊業，飲食サービス業	198.3	189.9	4.4	190.1	190.9	-0.4	164.1	165.1	-0.6	152.3	154.0	-1.1
	生活関連サービス業，娯楽業	220.1	214.4	2.7	200.2	197.6	1.3	163.6	165.5	-1.1	165.9	164.9	0.6
	教育，学習支援業	232.6	234.7	-0.9	198.2	198.2	0.0	174.4	173.9	0.3	159.1	152.2	4.5
	医療，福祉	205.2	220.3	-6.9	192.7	195.7	-1.5	174.5	169.8	2.8	147.9	151.2	-2.2
サービス業 (他に分類されないもの)	228.0	237.7	-4.1	195.7	200.1	-2.2	170.1	167.8	1.4	155.4	160.0	-2.9	
男 計	産業計	227.7	225.6	0.9	200.2	201.8	-0.8	174.2	173.0	0.7	158.9	160.1	-0.7
	建設業	225.0	219.2	2.6	199.8	205.7	-2.9	178.8	182.2	-1.9	161.1	166.2	-3.1
	製造業	224.8	225.8	-0.4	199.9	201.4	-0.7	176.3	177.8	-0.8	159.2	160.1	-0.6
	情報通信業	235.2	224.0	5.0	212.2	205.8	3.1	180.4	181.8	-0.8	165.2	164.2	0.6
	運輸業，郵便業	220.0	221.5	-0.7	190.8	195.1	-2.2	177.1	172.5	2.7	162.3	160.7	1.0
	卸売業，小売業	235.5	222.6	5.8	200.6	203.6	-1.5	170.1	169.1	0.6	155.8	155.7	0.1
	金融業，保険業	223.0	226.8	-1.7	198.4	196.6	0.9	190.5	172.0	10.8	147.7	141.4	4.5
	学術研究，専門・技術サービス業	225.9	229.8	-1.7	208.0	213.3	-2.5	181.0	182.6	-0.9	157.7	157.8	-0.1
	宿泊業，飲食サービス業	191.9	182.2	5.3	193.2	197.3	-2.1	164.9	164.7	0.1	153.2	157.1	-2.5
	生活関連サービス業，娯楽業	221.2	219.5	0.8	204.1	205.5	-0.7	162.7	164.4	-1.0	178.5	165.9	7.6
	教育，学習支援業	255.8	229.4	11.5	205.6	204.5	0.5	172.2	163.9	5.1	162.3	155.2	4.6
	医療，福祉	204.5	217.4	-5.9	189.6	191.5	-1.0	180.4	172.0	4.9	145.9	148.7	-1.9
サービス業 (他に分類されないもの)	229.4	233.6	-1.8	197.3	201.5	-2.1	173.1	171.0	1.2	158.3	161.3	-1.9	
女 計	産業計	230.0	228.4	0.7	195.1	196.5	-0.7	171.2	168.4	1.7	151.3	153.6	-1.5
	建設業	224.9	218.2	3.1	189.4	198.9	-4.8	175.2	171.8	2.0	143.1	149.2	-4.1
	製造業	225.8	226.9	-0.5	195.5	195.8	-0.2	162.6	166.2	-2.2	151.9	151.9	0.0
	情報通信業	242.7	227.9	6.5	210.9	204.4	3.2	169.4	157.6	7.5	157.3	152.8	2.9
	運輸業，郵便業	207.1	218.8	-5.3	183.6	189.9	-3.3	182.9	157.3	16.3	148.6	157.5	-5.7
	卸売業，小売業	260.9	218.6	19.4	197.2	199.8	-1.3	167.2	170.5	-1.9	152.8	156.0	-2.1
	金融業，保険業	216.5	210.3	2.9	188.4	189.6	-0.6	156.1	158.5	-1.5	146.3	145.0	0.9
	学術研究，専門・技術サービス業	224.9	229.4	-2.0	205.2	208.1	-1.4	170.4	166.1	2.6	153.9	157.8	-2.5
	宿泊業，飲食サービス業	* 205.1	* 200.6	2.2	188.4	186.7	0.9	163.5	165.4	-1.1	151.9	152.3	-0.3
	生活関連サービス業，娯楽業	* 219.4	* 201.4	8.9	196.7	191.2	2.9	163.9	166.0	-1.3	161.0	164.5	-2.1
	教育，学習支援業	213.0	239.0	-10.9	194.9	195.8	-0.5	174.5	174.3	0.1	154.5	151.1	2.3
	医療，福祉	205.7	223.5	-8.0	193.9	198.2	-2.2	173.6	169.3	2.5	148.5	152.1	-2.4
サービス業 (他に分類されないもの)	224.4	246.3	-8.9	192.8	197.3	-2.3	163.4	164.2	-0.5	148.5	154.7	-4.0	

注：産業計には、上掲の産業のほか、鉱業，採石業，砂利採取業，電気・ガス・熱供給・水道業，不動産業，物品賃貸業，複合サービス事業を含む。

(4) 初任給の分布

初任給の分布を学歴別にみると、大学卒では、男女とも20万円台が最も多く、それぞれ36.6%、24.2%となっている。高校卒では、男性で16万円台が最も多く（34.8%）、女性で14万円台が最も多く（24.3%）となっている。（第19表）

第19表 初任給の階級、性、学歴別新規学卒採用者数割合

初任給の階級	男女計				男性				女性			
	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
千円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 109.9				0.2				0.2				0.3
110.0～ 119.9				0.8				0.3				1.7
120.0～ 129.9			0.8	4.3			0.3	2.7			1.1	6.8
130.0～ 139.9			2.3	7.1			2.5	4.5			2.2	11.3
140.0～ 149.9		1.8	8.5	17.0		1.1	7.0	12.4		2.6	9.3	24.3
150.0～ 159.9		2.1	14.9	25.8		1.7	8.4	27.2		2.7	18.3	23.6
160.0～ 169.9	0.5	4.7	22.9	29.6	0.3	3.4	23.2	34.8	1.8	6.3	22.7	21.1
170.0～ 179.9	0.8	9.7	18.1	10.2	0.5	7.6	21.2	11.9	2.1	12.2	16.5	7.4
180.0～ 189.9	1.8	14.3	14.5	2.8	1.8	12.2	19.9	3.5	1.9	17.0	11.7	1.6
190.0～ 199.9	3.7	14.9	9.0	1.0	3.9	13.9	10.3	1.1	2.8	16.2	8.3	1.0
200.0～ 209.9	8.3	31.1	4.1	1.2	7.7	36.6	3.7	1.4	10.6	24.2	4.3	0.9
210.0～ 219.9	13.4	8.9	1.6		13.1	10.5	1.0		14.6	6.8	1.8	
220.0～ 229.9	40.8	6.1	0.9		43.4	6.4	0.9		29.6	5.8	0.9	
230.0～ 239.9	17.8	2.5	2.5		17.7	3.0	1.9		18.0	1.9	2.9	
240.0～ 249.9	4.5	0.9			4.3	0.8			5.5	1.0		
250.0～ 259.9	2.6	0.7			2.5	0.8			2.8	0.6		
260.0～ 269.9	0.3	1.9			0.4	1.6			0.1	2.2		
270.0～ 279.9	0.8				0.4				2.5			
280.0～ 299.9	1.7				1.8				1.2			
300.0～	3.0	0.4			2.2	0.3			6.7	0.5		
平均額(千円)	228.1 (226.1)	198.0 (199.6)	172.2 (170.1)	156.0 (157.9)	227.7 (225.6)	200.2 (201.8)	174.2 (173.0)	158.9 (160.1)	230.0 (228.4)	195.1 (196.5)	171.2 (168.4)	151.3 (153.6)
第1・十分位数(千円)	202.1 (207.5)	171.1 (173.4)	147.6 (144.4)	136.3 (140.6)	202.8 (208.3)	173.6 (178.0)	150.3 (149.3)	141.9 (144.1)	200.7 (203.7)	167.7 (170.3)	147.0 (142.5)	130.8 (133.9)
中位数(千円)	227.8 (227.4)	200.5 (201.6)	170.3 (170.0)	157.4 (159.0)	227.8 (227.1)	201.6 (202.5)	173.3 (173.1)	160.5 (160.6)	227.9 (228.5)	195.9 (199.0)	167.2 (166.5)	151.5 (154.4)
第9・十分位数(千円)	244.7 (245.7)	223.0 (225.1)	198.0 (194.4)	172.4 (175.1)	243.4 (242.6)	223.0 (225.8)	197.0 (194.5)	174.4 (176.2)	273.9 (251.0)	223.1 (222.3)	199.7 (194.3)	170.5 (171.7)
十分位分散係数	0.09 (0.08)	0.13 (0.13)	0.15 (0.15)	0.11 (0.11)	0.09 (0.08)	0.12 (0.12)	0.13 (0.13)	0.10 (0.10)	0.16 (0.10)	0.14 (0.13)	0.16 (0.16)	0.13 (0.12)

注：1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒採用者を初任給の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第9・十分位数、低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目（真ん中）に該当する者の初任給が中位数である。

2) 十分位分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がり小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3) ()内は、平成24年の数値である。

